

議案第 46 号

中村辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

中村辺地に係る公共的施設の総合整備について、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により議会の議決を求める。

平成 28 年 3 月 3 日 提出

多可町長 戸 田 善 規

(第1号様式)

総合整備計画

		兵庫県多可郡多可町中村辺地 (辺地の人口254人 面積2.2k㎡)	
1	辺地の概況		
(1)	辺地を構成する町又は字の名称	八千代区中村	
(2)	地域の中心の位置	八千代区中村字仲ツイ15番地1	
(3)	辺地度数	104点	

2 公共的施設の整備を必要とする事情

(中村地区獣害防止柵設置)

野生鳥獣による農作物等の被害は、近年深刻な状況となっている。現在でも、野生動物侵入防止対策を行っているが、農家単位で「点」的に個々に行われている。しかし、増加するシカやイノシシに対しての有効性は低くなっており、集落単位等「面」的な防護柵が必要となっている。そのため、面的に金網防護柵を設置することにより、野生動物の侵入による農作物被害の拡大を防止し、地域住民の生活改善を図る。

(小型動力ポンプ配備)

当該辺地地区は、地区内において自主防災組織を設置し、八千代北小学校地区を主な出動範囲とする地元消防団と連携をとりながら消防設備を使った実戦訓練等を行っている。

現在所有している小型動力ポンプは平成14年に配備されたものであり、近年その老朽化は著しく初動対応においてもかなり不安を抱えている状況にあり更新整備の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

(表第11項)

【変更前】

平成27年度から平成28年度 2年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
農業近代化施設	多可町	31,900		31,900	31,900
合計		31,900		31,900	31,900

【変更後】

平成27年度から平成28年度 2年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
農業近代化施設	多可町	36,000		36,000	36,000
小型動力ポンプ配備	多可町	1,840		1,840	1,800
合計		37,840		37,840	37,800

(別表第1) 年次別計画表

市町名 多可町 辺地名 中村

(単位：千円)

【変更前】

事業名	事業内容	全体				27年度			
		事業費	財源内訳 特定財源	一般財源	辺地対策 事業債	事業費	財源内訳 特定財源	一般財源	辺地対策 事業債
	農業近代化施設			31,900	31,900			15,950	15,950
		31,900			31,900				
	鳥獣害防止柵 L=5,800								
28年度		29年度		30年度		30年度		30年度	
事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費
15,950	15,950								

【変更前】

(単位：千円)

【変更後】

事業名	事業内容	全 体						27年度					
		事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		特定財源	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源					
農業近代化施設	鳥獣害防止柵 L=6,400	36,000		36,000	36,000		16,800		16,800			16,800	
小型動力ポンプ 配備	ポンプ購入1台	1,840		1,840	1,800								

事業費	28年度		29年度				30年度					
	特定財源	一般財源	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		特定財源	一般財源	辺地対策 事業債
				特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			
19,200		19,200										
1,840		1,840										

【変更前】

事業名	事業内容	全 体						27年度					
		事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		特定財源	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源					

【別添資料】 事業計画書

事業費 事業債 事業費 事業債

(単位：千円)

(別表第2) 辺地総合整備計画策定に係る理由書

市町名	多可町	辺地名	中村
<p>(中村地区獣害防止柵設置)</p> <p>野生鳥獣による農作物等の被害は、近年深刻な状況となっている。現在でも、野生動物侵入防止対策を行っているが、農家単位で「点」的に個々に行われている。しかし、増加するシカやイノシシに対しての有効性は低くなっており、集落単位等「面」的な防護柵が必要となっている。そのため、面的に金網防護柵を設置することにより、野生動物の侵入による農作物被害の拡大を防止し、地域住民の生活改善を図る。</p> <p>事業年度 平成27年度から平成28年度 事業費 36,000千円</p> <p>【変更理由】</p> <p>整備計画策定時には31,900千円の事業費を見込んでいたが、地元と協議をしながら事業を進める中での門扉の設置個所の増加など内容精査により事業費が増したため。</p> <p>【変更追加】</p> <p>(小型動力ポンプ配備)</p> <p>当該辺地地区は、地区内において自主防災組織を設置し、八千代北小学校地区を主な出動範囲とする地元消防団と連携をとりながら消防設備を使った実戦訓練等を行っている。</p> <p>現在所有している小型動力ポンプは平成14年に配備されたものであり、近年その老朽化は著しく初動対応においてもかなり不安を抱えている状況にあり更新整備の必要がある。</p> <p>事業年度 平成28年度 事業費 1,840千円</p>			

